22	1.0032	1.0000	1.0087
30	1.0032	1.0000	1.0075
37	1.0021	1.0000	1.0064
45	1.0021	1.0000	1.0053
55	1.0032	1.0000	1.0053
75	1.0032	1.0000	1.0042
90	1.0021	1.0000	1.0032
110	1.0021	1.0000	1.0032
132	1.0021	1.0000	1.0021
160	1.0021	1.0000	1.0021
200～375	1.0021	1.0000	1.0021

備考２　表１に掲げる区分36の基準エネルギー消費効率Ｅは、次の式で算出された定格出力ごとの値を出荷台数により加重平均した値とする。

$E=A_0\times(\log_{10}(P_N/P_C))^3+B_0\times(\log_{10}(P_N/P_C))^2+C_0\times\log_{10}(P_N/P_C)+D_0$

ここで、Ｅ　：基準エネルギー消費効率（単位　パーセント）

P_N：定格出力（単位　キロワット）

P_C：１（単位　キロワット）

A_0：0.0773、B_0：－1.8951、C_0：9.2984、D_0：83.7025（補間係数）

ただし、極数が２極及び６極のものについては、測定して得られたエネルギー消費効率の値に、２極であれば係数ｇを、６極であれば係数ｈを乗じて算出された値（小数点以下２桁を四捨五入した数値）で評価を行うものとする。

係数ｇ＝$(A_0\times(\log_{10}(P_N/P_C))^3+B_0\times(\log_{10}(P_N/P_C))^2+C_0\times\log_{10}(P_N/P_C)+D_0)$／$(A_1\times(\log_{10}(P_N/P_C))^3+B_1\times(\log_{10}(P_N/P_C))^2+C_1\times\log_{10}(P_N/P_C)+D_1)$

ここで、P_N：定格出力（単位　キロワット）

P_C：１（単位　キロワット）

A_1：0.3569、B_1：－3.3076、C_1：11.6108、D_1：82.2503（補間係数）

係数ｈ＝$(A_0\times(\log_{10}(P_N/P_C))^3+B_0\times(\log_{10}(P_N/P_C))^2+C_0\times\log_{10}(P_N/P_C)+D_0)$／$(A_2\times(\log_{10}(P_N/P_C))^3+B_2\times(\log_{10}(P_N/P_C))^2+C_2\times\log_{10}(P_N/P_C)+D_2)$

ここで、P_N：定格出力（単位　キロワット）

P_C：１（単位　キロワット）

A_2：0.1252、B_2：－2.6130、C_2：11.9963、D_2：80.4769（補間係数）

備考３　３定格（６定格）を含み出荷する場合、200ボルト/60ヘルツ（400ボルト/60ヘルツ）については、測定して得られたエネルギー消費効率の値に、表４に掲げる係数ｉ～ｋをそれぞれ乗じ、小数点以下２桁を四捨五入した数値で評価を行うものとする。

なお、表４に掲げる定格出力以外の出力の場合（60ヘルツ）、その出力の前後にある表４の定格出力間の中間点以上となるものにあっては高い定格出力の係数ｉからｋを、中間点未満となるものにあっては低い定格出力の係数ｉからｋを用いることとする。

また、３定格と６定格の定義は以下のとおり。

３定格：200ボルト/50ヘルツ、200ボルト/60ヘルツ、220ボルト/60ヘルツ、又は400ボルト/50ヘルツ、400ボルト/60ヘルツ、440ボルト/60ヘルツ

６定格：200ボルト/50ヘルツ、200ボルト/60ヘルツ、220ボルト/60ヘルツ、400ボルト/50ヘルツ、400ボルト/60ヘルツ、440ボルト/60ヘルツ

表４　３定格（６定格）における定格出力別係数

定格出力［キロワット］	２極	４極	６極
	係数ｉ	係数ｊ	係数ｋ
0.75	1.1325	1.0130	1.0452
1.1	1.0485	1.0188	1.0023
1.5	1.0298	1.0188	0.9908
2.2	1.0468	1.0147	1.0170
3.7	1.0229	1.0147	1.0170
5.5	1.0362	1.0099	1.0246
7.5	1.0246	1.0099	1.0246
11	1.0244	1.0109	1.0221
15	1.0310	1.0142	1.0288
18.5	1.0286	1.0119	1.0207
22	1.0286	1.0119	1.0207
30	1.0262	1.0107	1.0107
37	1.0227	1.0107	1.0150
45	1.0215	1.0106	1.0128
55	1.0258	1.0032	1.0171
75	1.0192	1.0032	1.0117
90	1.0095	1.0032	1.0117
110	1.0138	1.0042	1.0074
150	1.0126	1.0042	1.0116
185～375	1.0084	1.0042	1.0116

備考４　事業者ごとの出荷台数において、備考３に掲げる３定格（６定格）を含み出荷する場合、それぞれの定格ごとの台数を求めるために、表５に掲げる台数比率を用いるものとする。算出にあたっては、小数点以下１桁を四捨五入して整数値とし、端数の台数調整が生じる場合は、台数比率の最も高い定格での調整を行うこととする。

また、３定格（６定格）を含まず出荷する場合、それぞれの定格ごとの台数とする。

表５　３定格（６定格）における各電圧・周波数の台数比率

(1)　200ボルト、220ボルトの３定格

定格電圧	200ボルト		220ボルト
定格周波数	50ヘルツ	60ヘルツ	
台数比率	50パーセント	30パーセント	20パーセント